

# NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2012.3.20 第24号

## ■第5回通常総会 終了

2月5日、中沢区集会場にて、「第5回通常総会」を無事に終えることができました。平成23年度の報告と平成24年度の事業方針・事業計画・収支予算を審議し可決承認されました。今年も補助金対象事業として、「観察路の整備」や「畔の復元」、「講演会」を計画。会員数の増加や活動範囲の拡大などの理由から、「理事定数枠の拡大」が承認され、新たに理事2名が選出されました。更に改選期にあたる今期は、理事1名が交替し、新たな執行体制がスタートします。また、総会終了後、スライドショー「私達の活動を振り返って」を上映。改めて4年間の成果を確認する機会となりました。



△新任理事及び再任理事の紹介

## ●天神谷津の作業方針「谷津のあるべき姿を目指して…」



△春を待つ天神谷津

平成24年度「ホタル発生地の環境整備事業」は、天神谷津の観察路の追加整備と補修、及び畔の復元など水環境の整備を試行します。昨秋、ホタル研究家の大場信義先生から頂いた助言に沿って、谷津のあるべき姿を取り戻したいと思います。昔の人が、少しでもお米を多く穫ろうとして丹精を込めた田んぼの風景と、間伐や下草刈りの行き届いた美しい斜面林を実現できたら、と考えています。そこは、ホタルやその他の生き物がいっぱい、豊かな生態系を持つ、心安らぐ谷津になると期待しています。

【作業日】原則として、第一、第三土曜日に行います。

時間は、午前8時～正午。但し、冬は午前9時～正午とします。会員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。なお、雨天等で変更する場合があります。詳細については、事務局にご確認ください。

## ◆春の自然観察会「両国・旭の歴史と自然」参加者募集

富里の自然の特性は、辿って来た歴史の影響を受けています。富里の歴史・文化・自然に詳しい林田さんに解説して頂きます。



- 日時 4月14日(土) 午前10時～午後1時  
(注)雨天の場合は、15日(日)に順延します。
- 場所 両国・旭(印旛地域農林業センターに集合) 5kmコース
- 講師 林田利之さん(元印旛郡市文化財センター調査研究員、富里市生涯学習課文化資源活用室)
- 費用 500円(お弁当・飲み物代) ■定員 先着30人
- 申込み 4月13日までに電話またはメールにて受け付けます。  
(注)“会員募集”欄参照



△1930年当時の宮内省下総御料牧場

## ■春の写真講座&コンテスト 参加者募集

昨秋に続き、プロカメラマンによる春の写真講座を開催します。「富里には田んぼや水の流れ、農道など豊富な被写体があります。今回は色補正・露出補正・被写界深度について修得して頂き、春の里山を題材にして空気感、重量感、季節感をレンズを通してキャッチしてみましょう」と語る鈴木恵一さん。講座に期待が膨らみます。



△構図について解説する鈴木さん(昨年10月)

- 日時 4月28日(土) 午前10時～午後1時  
(注)雨天の場合は29日(日)に順延します。
- 場所 立沢地区公民館
- 講師 鈴木恵一さん
- 費用 500円(お弁当・飲み物代)
- 定員 先着30人
- 申込み 4月27日までに電話またはメールにて受け付けます。  
(注)“会員募集”欄参照

## ■生物多様性の米づくり・里山バンキング

第9回里山シンポジウム分科会として、下記のような講演会などが開催されます。私達の活動の参考になると思われるので、参加してみませんか。

- 日時 4月8日(日) 午後1時30分～午後4時20分
- 場所 千葉県立中央博物館講堂
- 講師 「究極の田んぼ」岩澤信夫氏(日本不耕起栽培普及協会会長)
- 費用 資料代300円
- 申込み 4月7日(土)までに電話またはメールにて受け付けます。(注)“会員募集”欄参照
- その他  
報告:「印旛沼干拓地での冬期湛水試験結果」中村俊彦氏(千葉県立博物館副館長)  
報告:「里山保全のための新しいメカニズム」久喜伸晃氏(東京都市大学院研究生)



## ■タウンウォッチング(自然観察)天神谷津を案内



△散策路沿いの自然観察

富里の自然環境や生活環境について、市内を徒歩やバスで巡る、富里市主催のタウンウォッチングが小雨の降る中、3月17日に開催されました。コース内容は、市営運動場付近の畑地の散策→谷津田の自然観察→中央公園の野草観察と国道の騒音測定→日吉台地区の街並み散策→高崎川の水質調査→簡易水質検査の取り扱い等、私達をとりまく環境(音・におい等)についての五感による体感や、検査器具で調べるという興味あるものでした。谷津田の観察の場所として、天神谷津の提供依頼があり、役員5名が案内役を務めました。市に委託されたガイドが、事前採取したカワニナ、ドジョウ、アメリカザリガニなどを見せながら解説すると、天神谷津の生き物の多様性に驚いていました。雨天のため昆虫や野鳥と出会えなかったのは残念ですが、富里の谷津の素晴らしさを知って頂く、よい機会となりました。

## ■環境学習講座 参加者募集

### 「水生生物で見る水のきれいさ」

私達は、昨年、富里第一小学校3年生を対象とした環境学習のお手伝いをする事が出来ました。その時感じたことは、教えることの難しさでした。昨年末、ある講座で講師の鈴木優子さんとの出会い、相談を持ちかけたところ、地元での講座開催が実現することになりました。特に、里山での環境学習のガイド役を担って頂く方に、受講をお勧めします。

- 日時 5月19日(土) 午前10時～正午  
(注)雨天の場合は、20日(日)に順延します。
- 場所 天神谷津と中沢区集会場
- 講師 鈴木優子さん(千葉県環境学習アドバイザー)
- 費用 無料 ■定員 先着20人
- 申込み 5月18日までに電話又はメールにて受け付けます。(注)“会員募集”欄参照



## ■第9回里山シンポジウム



第9回目の「里山シンポジウム」の全体会が市原市で開催されます。日時は決まっていますが、場所や行事は未定のため、詳細については後ほどお知らせいたします。

なお、4月から全体会開催日まで、市原市の6ヶ所で、「歩いて探そう市原の新しい魅力」としてサイトイベントが開催されます。

- 日時 5月27日(日) 午後1時～午後6時
- 場所 市原市内

## ★天神谷津★

### いのち 生命のにぎわい

## カワニナ(川蝸)

成長すると3cmほどになる淡水性の巻貝で、ホタルの幼虫の餌として、よく知られています。落ち葉や付着珪藻、デトリタスと呼ばれる有機物と微生物の塊りなどを食べているそうです。又、スイカの皮が好物で、水中に置くとそれに群がるという報告もあります。地域によって、色や形質もさまざま、遺伝的相違もかなりあると考えられます。従って、安易な人為的移入は、遺伝子攪乱の恐れがあるので、慎むべきでしょう。天神谷津の澄んだ水底では、カワニナの移動した跡がはっきりと線状に確認できる事があります。それを観察して見ると、一日に5～6mも移動しているようです。

ホタルの発生する環境づくりは、実は、カワニナが十分に生息する環境づくりと、ほぼイコールなのかも知れません。



3/14撮影

## 会員紹介

たかはし はつえ  
高橋 初恵さん(49才)



出身地は、成田市一坪田(旧大栄町)です。四男・一女の母親ですが、その他、犬、猫、小鳥と一緒に暮らす大家族です。現在、富里市大和地区に住んでいますが、私の住む団地の近くにも沢山のゲンジボタルを見ることが出来ます。NPO富里のホタルが設立されると聞き、我が子には勿論ですが、地域の子供達にも富里の環境の素晴らしさや、自然を残していく大切さを体感してほしいと思い、会員になりました。性格は明るくおおらかと皆さんが言って下さいます。子育てなどには、主人の協力が大ですが、仲間の皆さんとのつながりと活動で、精神的な支えや力を頂いています。これからもコミュニケーションを大切にして、ホタルウォーキングや会の活動に参加したいと思っています。

## 会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル 開設、アクセスお待ちしています !! ★

<http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタル発生のための環境保全活動を行っています。

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161

現在の会員数: 0150

事務局メールアドレス okamoton@themis.ocn.ne.jp